

経済透視図

(140)

学び直しに注目

世界経済フォーラム（WEF）の「仕事の未来レポート2025」によると、30年までに約1億7000万人の新しい雇用が創出される一方、9200万人の雇用が失われると予想されている。

職種別にみると、成長分野として、自動化技術の進展があるビッグデータの専門家、フィンテック（金融テクノロジー）関連スキルの

融とITの融合）エンジニア、AI（人工知能）および機械学習の専門家など、テクノロジー関連の職種が挙げられている。対して、郵便や銀行の窓口係、データ入力などは需要減少が見込まれている。

背景には、AIや自動化技術の進展がある。労働市場でAIやビッグデータなどテクノロジー関連スキルの

アダプティブラーニング

ニーズが高まった結果、スキルギャップが顕著になっている。そこで、生成AIなどのD

人的資本経営のツールに

X関連スキル習得に関する助成金制度が拡充



SMBBC日興証券
プライベート・
ソリューション室
高橋 克哉

個人別に最適化

アダプティブラーニングはAIが学習者の進捗を分析し、学習者の理解度に応じて学習内容や難易度を最適化する。学習効率の大幅な向上を実現する学習ツールである。以前からある手法だが、AIやデータ解析の進歩を背景に、これに対する有効な解決策の一つとしてアダプティブラーニングが注目を集めている。

企業におけるアダプティブラーニングは、均質な教育の提供や学習の効率化による人材の早期育成、学習者の進捗を分析したタレントマネジメントの推進、個人の学習進度を最適化するアダプティブラーニングは企業の活用が進んでいる。

最近では記憶の定着支援にフォーカスするツール（基盤）の高度化を背景に、アダプティブラーニングは本格普及期を迎えている。今後の動向を注視したい。

無断転載・複写禁止